特　　集／まちの職人集団　「朝日町建設総合組合」
町政スポット／最終候補決まる！子育て支援拠点施設名称　台湾で町内産りんご販促会　ほか
カメラさんぽ／白×黒で振り返る 2009冬
まちの話題／ゆきだるまコンサートII　in　朝日町　㈱朝日相扶製作所がＮＨＫ
ホールに客席用椅子を納入　桃色ウサヒのあさひまち探検　ほか

くずれないようていねいに吊り下げます

寒厳しい中、手作りの凍み餅作り
（1月27日；ＪＡさがえ西村山女性部朝日支部加工所）

広報 あさひまち

2009年2月号
No. 627

近年、金融不安に端を発する「景気の先行き不安」や「少子高齢化」の進展に伴い、全国的に、住宅の着工件数が激減しています。

そのため、建築に携わる仕事を生業としている職人の方々は厳しい日々を強いられています。

今回の特集では、そういった現状をお伝えするとともに、町の職人さんで作る「朝日町建設総合組合」の姿を紹介いたします。

特集◐まちの職人集団「朝日町建設総合組合」

頼りになります！ あなたの身近な職人さん

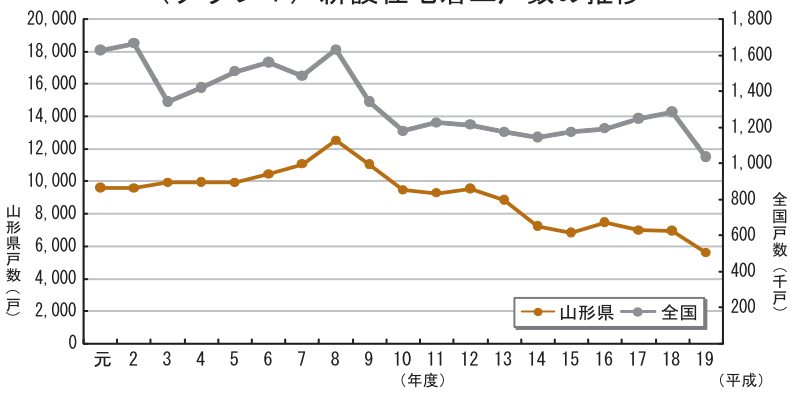
減少する建築需要 新規住宅着工状況

近年、全国的に住宅を中心とした建築物の着工件数が著しく減少しています。過去約20年間における全国・山形県の新設住宅着工件数の推移を見てみると、単年度ごとに小さな増減はあっても、大局的には、平成８年度をピークに減少の一途をたどっています。特に山形県においては、平成19年度の件数が６０００戸を割り込んでいて、ピーク時の半数以下まで落ち込んでいます（グラフ１）。

この傾向は朝日町も同様。町内の新築、増築を含んだ全家屋（住宅・住宅以外すべて）の建築状況は、平成９年をピークに、平成19年は当時の３分の１以下まで落ち込んでいます（グラフ２）。

その理由としては、①少子高齢化　②景気の先行き不安　③原材料費の高騰　④建築基準法の改正などが複合的に絡んでいると考えられていますが、いずれにせよ、以前のような建設ラッシュが今後訪れることは難しいと推測されています。

（グラフ１）新設住宅着工戸数の推移



（資料：山形県土木部建築住宅課）

２月末の完成に向けて建設が進む
町営アパート（右）→

民間需要が急激に減少している中、貴重な働き口として多くの雇用を生み出しています。
【５棟10世帯分を建設中】

建築年（平成）	新増築住宅件数（A）	助成金交付件数（B）	割合（%）（B/A）
11	28	18	64.3
12	39	27	69.2
13	42	22	52.4
14	43	22	51.2
15	36	18	50.0
16	38	14	36.8
17	35	15	42.9
18	24	11	45.8
19	23	7	30.4

←（表１）新増築住宅件数と「朝日町木材製品利用住宅建築奨励助成金」の推移

制度が開始された平成11年頃は、町内の新増築住宅件数に対して６割超の申請がありましたが、最近は４割～３割程度にとどまっていて、町内業者離れがうかがえます。

（資料：建設水道課）

建物が建たない…仕事がない　職人の皆さんの現状

この影響を受けているのが、大工さんをはじめ、左官業、板金業、設備業など建築に携わる仕事を生業としている職人の皆さん。その方々にとって建築需要の減少は生活に直結するまさに「死活問題」です。

また、朝日町の職人さんにとっては、近年のそういった建築需要の減に加え、別の問題もあります。それは、大手メーカー等の進出。以前に比べて、それら町外の業者を利用する方も増えていることから、近年はさらに仕事が減少しているという話を耳にします。

この状況に対して、町としても「朝日町木材製品利用住宅建築奨励助成金（※）」を用意し、町内業者の利用促進を図っていますが、その制度を利用する方の割合も年々減少（表１）。その理由としては、「大手メーカー等のメリット」のほか、町内業者に仕事をお願いすると、旧知の間柄だけに「要望を強く言えない」ことや「気遣いが必要」といったことを挙げる方もいるようです。

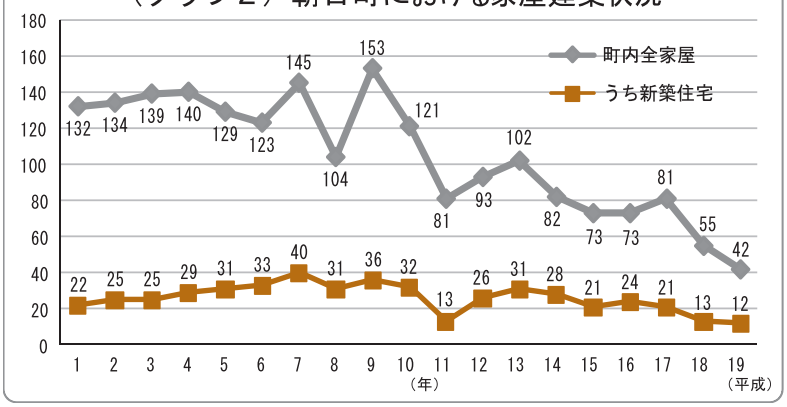
※朝日町木材製品利用住宅建築奨励助成金

町内における木材需要の促進と地域経済の活性化を図るため、木造住宅を建築するものに対し交付する助成金（平成20年度は限度額15万円）。

国産材を使用し、町内に建築された木造住宅で、町内の製材業者から納入された木材製品を使用するもの、または町外の製材業者から納入された木材製品を使用しても、町内建築業者が施工すれば交付されます（新増改築問わず）。

■詳しくはお問い合わせください
建設水道課　TEL　６７－２１１５

（グラフ２）朝日町における家屋建築状況



（資料：税務町民課）

（表２）朝日町建設総合組合の職人および人数（平成20年４月現在）

職 種	人数
大工	77
左官	18
板金工	12
塗装工	3
建具工	7
土木・土工	5
タイル工	2
石工	3
サッシ工	1
畳工	2
内装工	3
木工・家具工	3
電気工	4
鉄筋工	7
給排水設備工	4
造園・植木工	5
型枠大工	1
製材工	1
計	158

近年、町内での仕事が減少している中においても、朝日町建設総合組合の組合員数は堅調に推移していて、過去10年間のでは、わずかながら増加している状況です。

何か困ったことがあればまず相談「かかりつけの大工」を持ちましょう

朝日町建設総合組合
組合長　畑 俊美さん（大谷二）

私たち職人は自分たちが建てた家に人一倍責任と誇りを持っています。それは、言わば我が子のようなもの。何か不具合があれば、「かかりつけ」としてすぐに状態をうかがい、手当を行います。これは、近くに住んでいるからこそ得られる安心感ではないでしょうか。

建築に関して困ったこと、誰に相談したらいいかわからないことがあれば、お近くの大工（職人）へ遠慮なくお申し出ください。そして「かかりつけ」として末永くご利用ください。

なお、「お茶出し」等の煩わしさから町内業者を敬遠される方もおられるようですが、現在はそういった配慮は不要です。施主の方々が余計な気遣い無しで済むよう、組合としても常日頃から組合員に呼びかけていますので、どうぞご安心してご用命ください。

苦境を打破するため行動も「感謝ボランティア」で活路

しかし、職人の皆さんもただ「仕事がない」と手をこまねいているわけではありません。

町内で建築にかかわる職人さんで組織する団体に「朝日町建設総合組合（畑俊美組合長／１５８人）」があります（表２）。

この団体は「山形県建設労働組合連合会」などを上部団体とし、健康保険や労働組合など、職人の皆さんの暮らしと健康を守ることを主な目的とした、市町村単位の組織です。しかし、最近は地域の実情に応じて、さまざまな運動と事業を展開しています。

その取り組みの一つとして、同組合が平成19年度から実施しているのが「感謝ボランティア」。その内容は、高齢（75歳以上）の一人暮らし、二人暮らし世帯の方々に対して、職人ならではの様々な技能を無償で提供する活動です（表３）。そういった社会貢献活動を通じて、組織のイメージアップを図り、地元の職人をアピールすることを目的としています。

（表３）平成２０年度「感謝ボランティア」活動内容

職 種	件 数	主な内容
建 具	11	建具調整、レール交換、障子紙・網戸張り替え
大 工	7	段差解消、雨漏り修理、手すり・スロープ取付
板 金	6	雨樋の修理・清掃、雪止めの取付・取外し
水 道	3	蛇口パッキン修理、ガス器具点検、凍結防止工事
造 園	6	不要樹木の伐採処分、剪定
その他	5	廃材撤去、コンセント修理、塗装はがれ塗り替え

※感謝ボランティアは今年も実施予定。詳しくはお近くの職人さんへお尋ねください。

■日時　10月13日（月／体育の日）
■対象　75歳以上の一人暮らしおよび二人暮らし世帯
■申込　33世帯

住宅にかかわる最近の制度・動きをまとめてみました

■住宅用火災報知機

近年、火災時の逃げ遅れによる死者が多くなっています。それらを少なくするため「住宅用火災警報器」の設置が義務付けられました（罰則はありません）。

新築住宅では、平成18年６月１日から、既存の住宅等では、平成２３年５月３１日まで。早期に住宅火災を覚知し逃げ遅れないために、住宅用火災警報器を設置しましょう（※価格は、１個約４千円から約１万円程度です）。

■住宅瑕疵担保履行法

平成17年11月、首都圏のマンションで起きた「耐震強度構造計算書偽装事件」。耐震強度不足の建築物に対し、本来瑕疵担保義務（売買の対象物に欠陥があった場合、修繕等果たすべき義務）を持つデベロッパー（売主）が自己財産で対応できず倒産。その結果、引っ越しを余儀なくされたマンション住民は、新旧の二つの住まいに対し、ローンを抱えることになった事件です。

この事件の再発を防ぐために制定されたのがこの制度。保険によってそうした万が一の場合に備えるものです。今年10月以降引渡しが行われる住宅については、国が指定した保険業者に対し保険料を支払う義務が発生します。

■住宅耐震診断士派遣事業

近年多発する大規模地震。それに伴い、建築基準法をはじめとした耐震基準に関する法令も強化されています。

しかし、既存家屋については、法令の適用が難しく、基準を満たしていない家屋が多いのが現状です。そこで最近は市町村で独自の補助金を設けて、耐震診断および工事を促しているところも増えてきました。

朝日町においても、こういった制度を整えるべく、現在検討を重ねています。

■住宅団地造成

大谷小学校跡地に住宅団地を造成すべく、昨年同地の測量業務を行いました。

区画数など詳細はまだ決まっていませんが、近く事業計画をまとめる予定です。

「感謝ボランティア」に「感謝」

（感謝ボランティアを利用して）

阿部良子さん
（元町）

この度は一人暮らしの私が皆さまに大変お世話になりました。

家の内外の安全点検や修理・補強、そして手の届かない高さの壁の汚れまで取っていただき、皆様方のご親切に、只々ありがたく感謝申し上げる次第です。

女の私では気付かないようなところも見つけていただき、大変助かりました。ありがとうございました。

頼りになる身近な職人さん 地元経済の活性化にも貢献

地元の職人さんの強みは、いつでも私たちのそばにいること。急なお願いにも迅速に対応してくれます。そういった意味では、末永く大切にしたい存在です。

また、地元の職人さんへ仕事をお願いすることは、地元の活性化にもつながります。一般的に、一棟の住宅を新築するには、約20社（人）の下請けがあると言われています。町内の業者を利用し住宅を新築した場合、大部分の関連工事が町内の職人さんへ発注されることを考えると、たとえ一棟であっても大きな波及効果が見込まれます。

さらに、忘れてはならないのが、町財政への影響。町の職人さんが潤うということは、町の税収アップにもつながっていきます。それは、結果として「行政サービス」という形で還元され、町内経済の効果的な循環につながります。

もう一度見直してみませんか。あなたの身近な職人さん。互いに顔の見える存在だからこそわかりあえるものがあるはず。皆さんが何か困ったときには、きっとお役に立ってくれることでしょう。

■お問合せ
朝日町建設総合組合事務局
阿部工務店（夏草）阿部 正典
TEL 67-2708

最終候補決まる！ 子育て支援拠点施設名称

応募総数５０３点（２４７人）
各家庭からのハガキ投票を経て決定

① あさひ
② あっぷる
③ ぱれっと
④ ぶなの木
⑤ みつば
⑥ みらくる（未来）

広報あさひまち1月号で名称の募集を行った平成22年4月開園予定の「子育て支援拠点施設」。1月31日までの約1ヵ月間で、247人、503点（うち町外34人、85点）の応募がありました。

それらを一次候補として、2月5日名称検討委員会（委員長…鈴木敬二朝日町区長会長）が開催され、委員7人で選考を行いました。その結果選ばれたのが右の6点です。

今後、町内各世帯からのハガキ投票を経て名称が最終決定します。ぜひ投票し、みんなで親しみのある施設にしましょう。詳しくは、今回配布されている投票ハガキ等をご覧ください。

町長が台湾でトップセールス　町内産りんごの販促会

りんご海外輸出のさらなる攻勢を図るため、今年も1月16日から3日間、台湾でりんご販促会が開催されました。会場は、台北市内の高級百貨店4店舗。町長をはじめ各生産組合の代表と農協・町職員の総勢11人が参加し、店頭での試食販売を行いました。

目下、台湾には日本と同様に不況の波が押し寄せています。それに伴い、りんご販売も当初は苦戦が予想されましたが、女性生産者と農協職員の浴衣姿による日本色豊かな試食販売が功を奏したのか、まずまずの売れ行き。8個入りの小箱（日本円で約4000円）をまとめて10箱購入する方もいるなど、昨年以前と比較しても良好な売れ行きでした。

８個入り一箱（約4,000円）が好調

給食にりんごジュース　りんご緊急消費拡大運動

昨年、県産りんごの軸割れ被害が例年になく多かったことを受け、生産者支援と原料の早期消化のため、このほど商品化された「2008年産山形のりんごジュース」。県内りんごの代表産地である当町でも、その緊急消費拡大運動に呼応し、2月3日町内すべての小中学校の給食でこのジュースが提供され、700本以上が消費されました。

このうち、大谷小学校では、「いただきます！」の唱和とともに全児童が一斉に缶を傾け、ゴクリ。じっくりと濃厚な味を味わっていました。

１月25日執行　山形県知事選挙
朝日町開票結果　投票率78.44％（県内第５位）

	候補者名	政党等	得票数
当選	吉村 みえこ	無所属	3,486
	さいとう 弘	無所属	2,003
	合計		5,489

生きている実感

時の流れの速さに、驚くばかりの毎日です。昔、「十年一日の如し」と言われていた言葉も、今や瞬時瞬時に変化を遂げ、人間が追い付くよりも先に時代が進んでいく、そんな気がしてなりません。都市も田舎も日本も世界も瞬時に情報が行き交い、田舎だから「のんびりと」とか、都会だから「せわしない」だのと、そんな地理的要因によって、時代の速度を使い分けできる時代ではとうに無くなって来ている現実に、否応なしに私たちは覆われているのです。

黒人初のアメリカ大統領が誕生し、我が県初の女性県知事が就任する。

サブプライムローン問題に端を発した、全世界を覆い尽くした金融経済恐慌。よその話ではなく、我が身に直接降りかかる、生きることにさえ影響を及ぼしかねない重大な問題が、瞬時に世界を駆け巡ります。

希望と怖れ。光と闇と。相反する二つのものが同時に世界に存在する中、植物が太陽に向かって葉を広げるように、私たちもまた光に向かって手を広げ、希望に向かって進んで行かなければなりません。

先日、あるテレビ番組を見ていたところ、懸命にリハビリに励む人々の様子が画面に映し出されて来ました。そして彼らは言っていました。「できないことで悩むより、できることを進んでやろう」と。

山頂を目指す登山者も、初めの一歩、次の一歩と、最後まであきらめず、一歩一歩確実に努力を惜しまず歩を進め、いつか山頂にたどり着くのです。

世界がどんなに変化しようとも、どんな時代になろうとも、怖れることはないのです。私たちは今私たちにできる最善の策を考え実行し、どんなことがあってもあきらめず、努力を惜しまず進んでいく。そして、光と希望に向かって進んでいく。それが私たちの「生きている実感」となり、そのために私たちは生れて来たのです。

朝日町長　鈴木浩幸

朝日町緊急経済雇用対策本部を設置

世界的な金融危機に端を発した経済及び雇用状況の急激な悪化により、町民生活や企業経営に大きな影響が出てきています。それを受け、町では１月26日に「朝日町緊急経済雇用対策本部（本部長：鈴木町長）」を設置。次の緊急経済雇用対策を取りまとめました。

■役場産業振興課に経済・雇用相談窓口を開設

①離職者（生計中心者）支援資金　②未組織勤労者生活安定資金　③就職安定資金融資制度　④セーフティネット保証制度　⑤緊急雇用安定助成制度　⑥税金・公共料金等の納付相談　などについての相談に対応します。

■２０％プレミアム付きお買物券の販売

町内経済活性化と町民生活応援のため、２月12日より２０％プレミアム付きお買物券を販売しています。

■町ホームページでハローワークの求人情報を提供

■国の交付金事業を活用した臨時的雇用確保

詳細については町ホームページ及び広報、お知らせ板等で随時、お知らせいたします。

■問合先　産業振興課商工観光係　TEL６７－２１１３

「ドキドキ探検隊」が村山地区青少年育成連絡協議会より顕彰

大谷小学校区の児童を対象に、様々な体験活動を行っている「ドキドキ探検隊（鈴木直幸代表／大谷五）」がこのほど村山地区青少年育成連絡協議会より顕彰を受けました。

同隊は平成９年に発足。たくましく心豊かな大人になってもらおうと、毎年、地域の自然、伝統行事、生活文化に親しむ活動などを行っています。活動の企画・運営は「達人クラブ」と呼ばれる地域の方々が担っています。

鈴木さんは、「隊を卒業した方々が、時折顔を見せてくれるのがうれしいですね。自分たちの住む地域の良さを感じ、将来、この地域で活躍する人となるよう、今後も末永く活動を続けていきたいです」と話しました。

子どもたちに地域のすばらしさを伝える

白×黒で振り返る 2009 冬

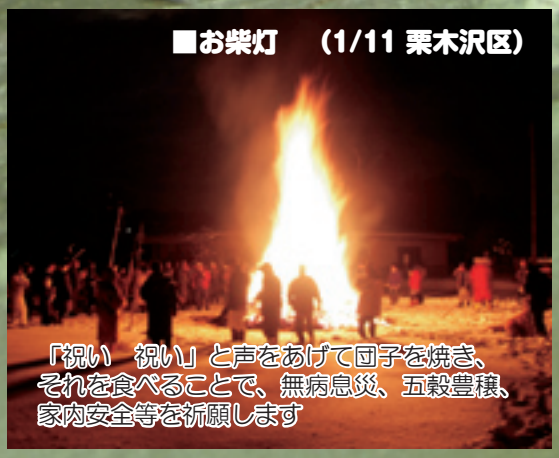
山形の冬といえば雪。雪はじゃま者扱いされることもしばしばですが、時には多くの楽しみや感動を与えてくれるものです。
私たちの生活と切っても切り離せない真っ白な雪。今回は「白×黒（昼×夜）」をテーマに、この冬のイベントを写真で振り返ってみました。

■ザ・ナイター IN ユーユーゲレンデ（1/10～11）

普段目にすることのできない美しい夜の景色を楽しんでもらおうと、Asahi自然観が企画。照明設備のないスキー場に数基の大型投光器が設置されました。
11日には、澄んだ空に満月も重なり、ゲレンデー面が幻想的な風景に。白銀の景色が煌々と輝く月明かりに照らされ、訪れたスキーヤー、スノーボーダーらは格別の一夜を楽しみました。

■ゆきだるまコンサート（1/24 創遊館）

２mを超える巨大な雪だるまが来場者を迎えました



■お柴灯　（1/11 栗木沢区）

「祝い　祝い」と声をあげて団子を焼き、それを食べることで、無病息災、五穀豊穣、家内安全等を祈願します

■スノーランタン（1/11 Asahi自然観）

ナイタースキーに合わせ、約100mにわたりろうそくのあたたかな光が来場者を迎えました

■2009Asahi自然観ＣＵＰ ハーフパイプ大会 (2/8 Asahi自然観スノーパーク)

全日本スノーボード選手権の東北予選会も兼ねる大会として開催され、山形県内のほか宮城・福島等の近県各地から「ビギナー」「ユース」など６部門に49人がエントリーしました。

このうち、一般男子の部では、高さのある豪快な技が次々に繰り出され、多くの観衆の目を魅了しました。

■ドキドキ探検隊「冒険キャンプ」 (2/7 秋葉山交遊館周辺)

真冬の雪原にテントを設営し、宿泊。文字通り、冒険心いっぱいのイベントです。

一年間の数ある行事の中で、子どもたちが一番楽しみにしているそうです。

※「ドキドキ探検隊」の活動内容については、７頁をご覧ください。

■海の子・山の子交流会 (1/31 秋葉山交遊館周辺)

宮城県七ヶ浜町と朝日町の子どもたちの交流事業。異なる風土に触れることで、ふるさとではできない体験を行うものです。

本格的な雪を知らない七ヶ浜町の子どもたち。この日は大谷小の児童とともに、雪上サッカーやゴムチューブ滑り、アイスクリーム作りなどを体験し、山の冬を満喫しました。

即興で歌と踊りを披露
（1／26　さゆり保育園）

まちの話題

ここで紹介した情報以外にも、ホームページ内
「まちの写真館」には写真がいっぱい。見てね！

外掃除も寒くないよ！
（2／6　西五百川小）

ゆきだるまコンサートⅡ　in　朝日町（1月24日／創遊館）

多くの町民が参加した心温まる音楽会

１月24日、創遊館で「雪だるまコンサートⅡ in　朝日町」が開催されました。

幕間でお話をする
服部公一さん

このコンサートは「山形交響楽団とみんなで創る音楽会」として、県生涯学習文化財団、朝日町教育委員会が主催したもので、平成15年１月以来２回目の開催。町内在住のオペラ歌手今井倭子（しずこ）さんのほか、宮宿小学校の３・４年生、今井さんが指導しているコーラスグループ「コーロ・アウローラ（朝日町）」と「コーロ・リリコ（山形市）」の皆さんなどが参加。司会は山形市出身の作曲家で、日本レコード大賞童謡賞などの受賞歴もある服部公一さんが務めました。

今回は小学生ら多くの町民の皆さんのほか、寒河江市内合唱団や河北町混声合唱団の皆さんも賛助出演。山形交響楽団や今井倭子さんといった「プロフェッショナル」に触れることができるのに加え、我が子や友人の晴れ姿を見れるとあって、会場には500人を超える聴衆が詰めかけ、真冬の寒さの中、温かな歌声が響き渡りました。

㈱朝日相扶製作所がNHKホールに客席用イス（3,600席）を納入

日本に誇る「NAMELESS-BRAND」

大晦日の風物詩と言えば「ＮＨＫ紅白歌合戦」。その会場である東京ＮＨＫホールの客席用イス3,600席分を、当町の（株）朝日相扶製作所が手がけ、昨年秋に納入しました。

自社のブランド名を持たず、「NAMELESS－BRAND（ネームレス・ブランド）」を念頭に掲げる同社。製品はすべて発注元ブランド名で納入しています。常に黒子役ながら、技術の高さ・（注文に対する）対応の柔軟性などは広く知れ渡っていて、その製品は、東京ドームシティのホールをはじめ、関西空港ロビー、劇団四季ホールなどの有名施設にも納入されています。

今後ＮＨＫ歌謡コンサート（毎週火曜午後８時から放送）などで、同ホールが映し出されたら、ぜひイスに注目してみてはいかがでしょうか。

阿部佳孝社長（中央）、阿部正春部長（左）が
製品見本とともに町長を訪問

桃色ウサヒのあさひまち探検　ウサギの着ぐるみを着た学生が町ホームページで観光情報を発信

町の資源は豊富 情報発信が鍵

佐藤恒平さん

現在、町ホームページ内にある「桃色ウサヒのあさひまち探検」というコーナー。これは、東北芸工大大学院に所属する佐藤恒平さん（福島県出身）が、卒業研究の一環として、ウサギの着ぐるみを着て取材を重ね、町の見どころを紹介しているページです。

「私の研究テーマはインターネットを使った地域振興や地域の特産品のＰＲ。その一つの手法が着ぐるみ。キャラクターへの親近感から、皆さんがリラックスして取材に応じてくれて、本音を引き出すことができると考えました。また、そのページを掲載することで、掲載サイトに対する親近感も向上し、それがホームページの閲覧者アップにも結びついていくものと考えました」と佐藤さんは語ります。

朝日町ワインでの取材の様子

さらに「取材を重ねるにつれ、いろいろな町の資源が見えてきましたが、それらはまだまだ伸びしろがあると感じました。それには情報発信が鍵。今回の取組みが少しでもそのお役に立てれば…」と付け加えました。

なお、「ウサヒ」とは「ウサギ」と「アサヒ」を合わせた言葉。町のメインキャラクターになるべく、日々奮闘しているとのこと。まだという方はぜひ一度ご覧ください。

エンジョイ吹矢教室
（１月27日～／創遊館）

吹矢20本で2キロのウォーキング効果

１月27日から４回シリーズで「エンジョイ吹矢教室」が創遊館を会場に開催されました。

「スポーツ吹矢」とは、腹式呼吸法を用いた健康法の一種で、日本古来の吹矢を発展させたもの。筒は、長さ120㎝、口径13㎜程度のパイプを、矢は薄いプラスチックフィルムを細い円すい状に巻き、先端にオモリとして小さな釘つけたものを用いるのが一般的。８～10ｍの距離から標的を狙い点数を競うもので、20本吹けば、２km分のウォーキング効果があると言われています。

町内一ツ沢出身で県体育指導委員協議会専務理事の阿部浩三郎さん（山形市）を講師に、約20人が参加。阿部氏は「気軽にできる運動として、特に冬場の軽スポーツとして最適。そのほか地区のレクリエーションにもどうぞ」と語りました。興味のある方は教育文化課（67-2118）まで。

中学生が自作の絵本を読み聞かせ
（１月26日／さゆり保育園）

園児とふれあい、子どもの成長を学ぶ

手作りの絵本の読み聞かせを行おうと、中学生ボランティアサークル「きらり」に所属する２年生６人が１月26日さゆり保育園を訪れました。

絵本は「子どもの成長」について学んだ家庭科の授業で朝日中２年生全員が製作したもの。物語の内容は「早寝・早起き」や「好き嫌いのない食生活」など、生活習慣を呼びかけるものが多く、生徒一人ひとりが知恵を絞って考えました。

鈴木遥子さん（松程）は「子どもたちの真剣なまなざしに心うたれました。絵本を作るだけでなく、実際に読み聞かせを行い、勉強になりました」と語りました。

みんなのひろば

今輝いて

連載期間が20年を突破！

4コママンガ「となりのリンゴさん」作者 長嶋 浩彰さん

「となりのリンゴさん」連載のきっかけは、ある町職員の方からの依頼。高校生の頃から趣味でマンガを描くようになり、周囲から多少認められていましたが、それを「ぜひ広報誌で！」というような趣旨でした。当時は私もまだ22歳。「公的な紙面にマンガ…？」と、当初は戸惑いや緊張もあったのを覚えています。

この20年間を振り返ると、広報あさひまちの他にも本業（印刷会社勤務）や他市町のミニコミ誌などに連載を抱えていて、多いときには月3本程度描いていた時期もありました。今考えれば、「よくやっていたな」と思いますね。その中でも、やはり広報あさひまちが最長。まさか20年も続くとは、夢にも思いませんでした。

今でも感じることですが、「毎月描く」というのはつくづく大変だなと思います。これまで、自分から連載を休むようにお願いしたのは、おそらく交通事故で入院した際の一回だけ。時には見舞いで訪れた病院で描いたことや、結婚前、妻と交際していた頃には、デート中に突然アイデアがひらめき、図書館に駆け込んだこともあります。

絵自体は1時間～2時間もあればできますが、問題はその題材。半日、時には1日もかかることがあり、休日を棒に振ってしまうことも。そんな状況を見かねて、妻からはよく「もう（マンガなんか）やめて！」と怒られます（笑）。結婚して子どもが生まれてからは、自分の身の回りで実際起こったことを題材にすることが多くなりました。その点では、昔の広報誌を見ると、絵日記のような感覚で思い出がよみがえりますね。

私は現在、朝日町を離れ南陽市に住んでいます。寒河江市の勤務先まで、通勤には朝日町を通りますので、真中の実家にもしばしば立ち寄ります。そんな時、近所の方々からかけていただくマンガへの言葉。それが、何よりもうれしいですね。町外に出ても朝日町とのつながりが持てていることに幸せを感じます。

この先何年続くかわかりませんが、「となりのリンゴさん」を、ふるさと朝日町との「絆」にしていきたいですね。今後ともよろしくお願いいたします。

1989年1月、平成時代の幕開けとともにスタートしたのが、4コママンガ「となりのリンゴさん」。以来、この1月で連載20年を迎え、掲載作品も200編を超えています。

その作者が長嶋（旧姓／堀）浩彰さん。現在は縁あって南陽市にお住まいですが、真中出身の42歳。なんと、マンガの他にもライフル射撃競技で全国制覇を成し遂げたこともある多彩な才能の持ち主です。

～となりのリンゴさん特別編
その歴史を振り返ってみました～

■1989年１月号
　20年前の連載第１回の作品。あれ？いつもの主人公がいない！タイトル、ペンネームも今と違いますね。

■2002年４月号
　ご自身の結婚を機に、自分をイメージしたキャラクターに主人公が交代。タイトル、ペンネームは１９９４年１月号（第６１回）より現在のものになっています。

■そして今月号。取材の内容をマンガにしていただきました。

さやかの新婚さん

四ノ沢
清野英樹　さん
さやか　さん

　二人の出会いは今から５年前の夏。英樹さんが22歳、さやかさんが18歳の時でした。互いの第一印象について尋ねると「童顔で同じ年くらいと思っていました」と語るさやかさんに対し、「大人っぽい外見でしたね。とても高校卒業したてとは思えませんでした」と語る英樹さん。出会って間もなくお付き合いが始まりましたが、当時は長続きしませんでした。

　しかしその後、おととしの夏に再会。以前とは違った魅力にお互いが魅かれ合い、いつの間にか再び交際がスタート。約１年半の交際期間を経て12月に入籍されました。

　今まで、これといったケンカもしたことがないという仲睦まじいお二人。「いつまでもやさしく、家庭的な妻でいてください（英樹さん）」「これからも仲良く、末永くよろしくね（さやかさん）」とお互いにメッセージを交換しました。

　取材にお伺いしたとき、テーブルの上にあったのは大河ドラマ「天地人」に関する本。「直江兼続のように『義』と『愛』を大切にし、幸せな家庭を築いていきたい」と語る英樹さんでした。

みなさんからのおたよりでつくるコーナーです。

町に対する意見や要望、質問、提案などお待ちしています。

■あて先／〒990－1442　朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場 政策推進課 地域情報係
（電話：67－2112　ﾌｧｯｸｽ：67－2117）
■Ｅ メ ー ル／inform@town.asahi.yamagata.jp
■Ｕ　Ｒ　Ｌ／http://www.town.asahi.yamagata.jp

町民の声

診察終了から、会計までの長い待ち時間 会計処理を迅速にお願いします

問 町立病院会計事務の処理を迅速にしていただきたいです。診察を終えてから、会計完了までの時間がとても長く、私たち患者の間でも改善要望の声が多く出ています。他の病院での処理方法等研鑽し、スピーディーにして下さい。

【無記名】

答 会計につきましては、当日の患者様の混み具合や受診の状況によって、お待ちいただくこともあるようです。

今後業務の流れを見直し、できるだけ早く会計が終わるよう努力して参りますので、よろしくお願いいたします。

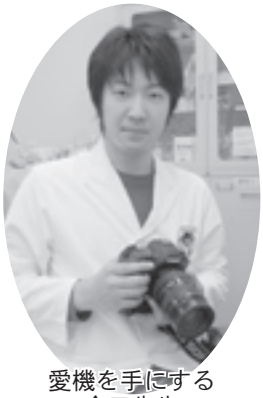
【町立病院】

金田卓也先生のミニ写真展 町立病院で開催中です

町立病院内科医師金田卓也先生の「ミニ写真展」が同病院の内科外来待合室で開催されています。

「手術の勉強のため…」一眼レフカメラを購入したきっかけをそう語る金田先生。まだキャリア2年というものの「好きなものには、とことんのめり込むタイプ」とのことで、機材や撮影技術など、相当詳しい様子です。

今回は「ダチョウ」や「椹平の棚田」など町内の風景も含めて7点を展示。愛機の「キャノンＥＯＳ５Ｄ」を構える先生の姿を今後お見かけの際は、皆さんどうぞ一声おかけください。



愛機を手にする
金田先生

各種大会の成績

■第45回町民卓球まつり（2月1日／町民体育館）

＝団体戦＝　①やっさんズ（斉藤利彦監督）②ともきんズ（阿部為吉監督）　③送橋（清野信博監督）

＝個人戦＝▼小学男子①阿部篤（常盤）▼小学女子①阿部翔子（八ツ沼）▼中学男子①五十公野泰弘（西町）▼中学女子①阿部愛美（常盤）▼オープンダブルス（公式）①清野友麻子（送橋）・清野友理子（送橋）組▼同（ラージ）①阿部為吉（常盤）・斉藤利彦（夏草）組

■お詫びと訂正

広報あさひまち12月号で紹介した「高校生『税の作文』」入賞者について、一部掲載漏れがありました。ご本人、ご家族の皆様に深くお詫びし、改めて掲載いたします。

▼山形税務署長賞「身近な税金」安藤友哉（山形電波工業高校２年／大町）、▼同賞「私の町の施設を通じて」近藤香澄（山形城北高校１年／栄町）

清野嵩悠（こうゆう）くん（朝日中3年／四ノ沢）が 県を制覇・東北大会も準優勝

県大会優勝の滑り
（写真提供：山形新聞社）

１月15日から開催された県中学総体スキー競技大回転の部で清野嵩悠くんが見事優勝を果たしました（回転の部でも３位入賞）。

12月以降、Asahi自然観を中心に毎日練習を重ねてきた清野くん。「結果を残せてうれしい」と素直に感想を語りました。

その後も快進撃が続き、１月下旬の東北大会でも大回転の部で準優勝。２月５日からの全国大会（岐阜県）にも出場し、今後は冬季国体への出場も決まっています。

平成20年（2008年）
12月1日から
平成21年（2009年）
1月31日届出

すこやかに

区　名	出生児氏名	性別	保護者名
大谷三	佐藤　翔（かける）	男	学・道代
真中	犬飼　響樹（ひびき）	男	登志樹・明子
松原	長岡　司（つかさ）	男	久史・ひろみ
大谷五	渡邉　日和（ひより）	女	健一・友美
緑町	菅井　蒼衣（あおい）	女	優太・沙織
緑町	菅井　蓮花（れんか）	女	優太・沙織
大町	鈴木　未来（みく）	女	智仁・晴美
新宿	今井　美月（みづき）	女	正則・久美子
緑町	佐竹　美夢（みゆ）	女	秀文・桂子

おしあわせに

安藤勝浩（杉山）	奥山恵（河北町）
清野英樹（四ノ沢）	押野さやか（天童市）
樋口由昭（西町）	鈴木千佳子（鶴岡市）
杉浦拓也（東根市）	鈴木紋子（大暮山）
鈴木秀和（元町）	小野朋子（河北町）
渡邉健治（四ノ沢）	佐藤陽子（中山町）

やすらかに

区　名	死亡者氏名	世帯主名
大沼	白田久男	光廣
小原	和田源太郎	一則
大谷三	菅井覺	かち
太郎二	長岡まき	正博
宿	鈴木圭治	昇
大谷五	小林重一	重敏
大谷四	白田はな辺	健治
舟渡	堀きく子	謹一郎
西船渡	若月侃	きみ子
大谷二	白田義一	和夫
松程	鈴木とよ	弘巳
大暮山	阿部満雄	満弘
八ツ沼	佐竹哲太郎	正二
大暮山	長岡キクヱ	拓也
栄町	長岡清一	良一
大沼	最上幸一郎	村山亮子
栗木沢	遠藤トキ子	二三夫
大滝	柴田政藏	隆
松程	阿部とゑ	豊志
白倉	今野はる	喜助
平	佐藤喜代治	はるゑ
本町	鈴木晴孝	コウ
沼向	鈴木政光	秀男
新宿	今井道男	武雄
大沼	白田とみゑ	隆
大沼	小林八千代	昇
西町	鈴木欣一	みよ

人口と世帯数

●平成２１年１月３１日現在

人口	8,355 人	（減 25）
男	4,136 人	（減 22）
女	4,219 人	（減 3）
世帯数	2,545世帯	（減 2）

（　）内 前々月比

全3部門で入選 山形県広報コンクール

このほど、平成20年度山形県広報コンクールの審査結果が発表され、「広報あさひまち」が、エントリーした「広報誌の部」「一枚写真の部」「組み写真の部」の全３部門で入選を果たしました。（それぞれの部門で特選が１点、入選は１席から５席までの５点が選ばれています）

これも取材にご協力いただいた方をはじめ、町民の皆さんの応援の賜物と感じております。今後ともよろしくお願いいたします。

■広報誌の部（町村部）
入選３席　６月号
「応援します！頑張る町内製造業」

■一枚写真の部
入選２席　10月号
「豊かな自然の中でのびのびと育つ子ども」

■組み写真の部
入選２席　７月号
「高田山ブナ林探索会」

■広報あさひまち　第627号　平成21年2月15日発行　■発行 山形県朝日町　■編集 朝日町広報委員会/山形県西村山郡朝日町大字宮宿1115　☎0237(67)2111　■印刷 寒河江印刷株式会社

わたしの作品

第50回こども県展　奨励賞受賞作品

「満開の桜と校舎」

佐竹　優真くん（西五百川小4年／常盤）

去年の4月、桜が満開の頃、学校の授業で描いた絵です。

きれいな桜の花びらを、いろいろな色を使って表現しました。

図工は大好き。これからもいっぱい絵を描いて、もっともっとうまくなりたいです。

広報あさひまち「わたしの作品」展を開催します

■期間　2月17日(火)～3月8日(日)
■場所　創遊館ギャラリー

昨年4月以降、「広報あさひまち」の裏表紙（このページ）で紹介させていただいた方々の作品（絵画のみ）を集めた展示会を開催します。多数の皆さんのお越しをお待ちしております。

春夏秋冬　編集後記

凍み餅の様子と女性の元気に圧倒

表紙で紹介したJA女性部朝日支部の皆さんによる「凍み餅作り」。昨年一度取材に訪れた際、辺り一面に所狭しと吊り下げられたその様子に圧倒され、いつか紹介したいと思っていたものです。

昨年、今年と何度か取材にお伺いしましたが、女性部の皆さんの元気な姿には、凍み餅の様子と同様いつも圧倒されるばかり。凍み餅だけに、暖かい場所での作業は禁物。暖房を一切使わない場所での作業ですが、皆さんとても元気なのに加え、語り口も軽やかでユニーク。毎年、寒の時期の風物詩として、テレビ・ラジオ番組から、多くの取材を受けるそうですが、今年も慣れた様子で受け答えされていました。

「元気があれば、何でもできる！」とは有名なプロレスラーの言葉ですが、まさにそれを体現している方々。私自身元気を分けてもらった気がしました（町ホームページ「まちの写真館」で写真を公開しています。ご覧ください）。　佐久間　淳